

新技術

新技術概要説明情報

2025.2.13 現在

NETIS登録番号	KT-180049-VE
技術名称	ANDPAD
事後評価	事後評価済み技術 (2024/12/17 (R06/12/17))
テーマ設定型比較表への掲載	無
受賞等	令和3年度 インフラDX大賞（旧i-Construction大賞）国土交通大臣賞 令和5年度 日本スタートアップ大賞 国土交通スタートアップ賞（国土交通大臣賞）
技術審査証明技術	建設技術審査証明※
事前審査・事後評価	事前審査 活用効果評価
技術の位置付け （有用な新技術）	推奨技術 準推奨技術 評価促進技術 活用促進技術
旧実施要領における 技術の位置付け	活用促進技術(旧) 設計比較対象技術 少実績優良技術
活用効果調査入力様式	-VE 活用効果調査は不要です。（フィールド提供型、テーマ設定型で活用する場合を除く。）
適用期間等	

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。 申請情報の最終更新年月日：2024/12/17

概要

副題	監督(現場代理人等)と作業員(現場作業員等)の間の連絡調整がスムーズに確実に行えるように支援するツール
分類 1	C A L S 関連技術 – その他
分類 2	
分類 3	
分類 4	
分類 5	
区分	システム
①何について何をする技術なのか？ ・ 監督と作業員の間の連絡調整・情報共有がスムーズかつ確実に行えるように支援するクラウド型建設プロジェクト管理サービス ②従来は、どのような技術で対応していたのか？ ・ 監督と作業員の電話や対面による連絡調整 ③公共工事のどこに適用できるのか？ ・ 全ての公共工事 ④その他 ・ <余計な「手間」を、お客様への「手間ひま」へ>をコンセプトに開発した施工現場の業務を手助けするツールで、スマートフォン、タブレットおよびパソコンで利用できる。 ・ 現場監督と現場作業員等の意思疎通、連絡調整、情報共有を合理的に行えるため、施工に必要な文書や図面、仕様書(指示書)を探す時間、電話や集合しての打合せなどの時間を削減することが可能になった。 ・ 基本機能として、「チャット」「写真・資料管理」「工程表」「日報・報告」「横断工程表(稼働管理)」「カレンダー」、オプション機能として、「図面」「黒板」「検査」「入退場(タイムカード)」「受発注」「引合粗利管理」などがある。現場の規模や参加する人員数によって、最も合理的な施工管理が行えるようになっている。 新規性及び期待される効果	



ANDPADとは？

①どこに新規性があるのか？（従来技術と比較して何を改善したのか？） ・ 頻繁な電話や対面の連絡調整から情報端末を使用したアプリケーションツールに変えた。 ②期待される効果は？（新技術活用のメリットは？） ・ 頻繁な電話や対面の連絡調整から情報端末を使用したアプリケーションツールに変えたことによって、 (1)頻繁な電話や集合しての連絡調整で生じる手間と時間を低減することが可能となるため、施工性の向上が図れる。 (2)すべての関係者が現状をタイムリーに把握することができ、スムーズな施工が可能となるため、工程の短縮が図れる。 (3)連絡調整が合理的に行えるため、省力化となり、経済性の向上が図れる。 (4)バラバラに管理していた写真や資料をクラウド上で案件毎に一元管理が行えるため、品質の向上が図れる。 ③その他 ・ 特になし	NO IMAGE
適用条件	
①自然条件 ・ 自然条件に左右されない。 ②現場条件 ・ インターネットに接続できる場所であること(一部の機能に関しては、インターネットに接続できない環境でも使用可能)。 ③技術提供可能地域 ・ 技術提供可能地域については制限なし。 ④関連法令等 ・ 特になし。	
適用範囲	
①適用可能な範囲 ・ 施工管理が必要な工事。 ②特に効果の高い適用範囲 ・ 多くの関係者を必要とする工事。 ③適用できない範囲 ・ 施工管理が必要ではない工事。	
留意事項	
①設計時 ・ ネットワーク接続可能なスマートフォン等の情報端末が必要。 ②施工時 ・ 特になし。 ③維持管理時 ・ バージョンアップ時に更新。 ④その他 ・ 特になし。	

従来技術との比較

活用の効果

比較する従来技術		・ 監督と作業員の電話や対面による連絡調整	
項目	活用の効果		比較の根拠
経済性	向上 (7.61%) 同程度 低下		連絡調整が合理的に行えるため、省力化となり、経済性の向上が図れる。
工程	短縮 (19.23%) 同程度 増加		すべての関係者が現状をタイムリーに把握することができ、スムーズな施工が可能となるため、工程の短縮が図れる。
品質	向上 同程度 低下		バラバラに管理していた写真や資料をクラウド上で案件毎に一元管理が行えるため、品質の向上が図れる。
安全性	向上 同程度 低下		
施工性	向上 同程度 低下		頻繁な電話や集合しての連絡調整で生じる手間と時間を低減することが可能となるため、施工性の向上が図れる。
周辺環境への影響	向上 同程度 低下		
	向上 同程度 低下		
	向上 同程度 低下		
その他、技術のアピールポイント等	従来技術は、留意事項・確認事項が発生する度に作業場所を離れての連絡調整が必要という問題があったが、本技術の活用により、作業場所を離れることなく手間と時間を低減でき、施工性の向上および工程の短縮が図れる。		
コストタイプ	発散型：C(+)型		

活用の効果の根拠

基準とする数量	1	単位	ヶ月
	新技術	従来技術	向上の程度
経済性	543,353円	588,120円	7.61 %
工程	2.1日	2.6日	19.23 %

新技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
労務費	土木一般世話役	2.1	人	24,200 円	50,820 円	
労務費	普通作業員	21	人	20,200 円	424,200 円	
システム費	ANDPAD利用料	1	月	60,000 円	60,000 円	
システム費	初期登録、レクチャ一料	1	月	8,333 円	8,333 円	

従来技術の内訳

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
労務費	土木一般世話役	2.6	人	24,200 円	62,920 円	
労務費	普通作業員	26	人	20,200 円	525,200 円	

特許・審査証明

特許・実用新案

特許情報	特許番号	7486748
	特許	有り 出願中 無し
	実施権	通常実施権 専用実施権
	特許権者	株式会社アンドパッド
	実施権者	株式会社アンドパッド
	特許料等	サービス価格に含む
	実施形態	他社へ幅広く販売
	問合せ先	株式会社アンドパッド

実用新案	特許番号	
	実用新案	有り 出願中 出願予定 無し
	実施権	
	備考	

第三者評価・表彰等

	建設技術審査証明	建設技術評価
証明機関		
番号		
証明年月日		
URL		
	その他の制度等による証明1	その他の制度等による証明2
制度の名称	「日本スタートアップ大賞2023」にて 国土交通大臣賞(国土交通スタートアップ賞)を受賞	
番号		
証明年月日	2023/06/12	
証明機関	経済産業省	
証明範囲		
URL	https://www.meti.go.jp/press/2023/06/20230609006/20230609006.html	

評価・証明項目と結果

証明項目	試験・調査内容	結果
------	---------	----

単価・施工方法

施工単価

【施工条件】

◇共通

- ・ 施工内容: 監督と作業員の連絡調整
- ・ 施工数量: 監督(現場代理人)1人/日、作業員10人/日
- ・ 施工期間: 1ヶ月
- ・ 施工場所: 東京都

◇新技術

- ・ ANDPAD

◇従来技術

- ・ 監督と作業員の電話や対面による連絡調整

【積算条件】

◇共通

- ・ 労務単価: Web建設物価(【平成30年3月から適用】公共工事設計労務単価)(東京)
- ※情報端末の機器費は、既に持っているスマートフォン、タブレット、PCを前提としているため、計上しないものとする。
- ・ 算定年月: 平成30年5月

◇新技術

- ・ 適用歩掛: 自社歩掛(平成27年10月)(全国)
- ・ 利用料金: 自社価格(平成30年5月)(全国)

※利用料金は、実際の契約では年契約(一括前払い)となるが、便宜上、1ヶ月分の利用単価として算出している。
(基本的に年契約を前提としているが、契約IDが多い(200ID以上)場合、あるいはカスタマイズ開発が発生する場合は月契約にできる場合がある)

◇従来技術

- ・ 適用歩掛: 実績歩掛(平成27年10月)(全国)

ANDPADによる連絡調整費(1ヶ月当り)(参考)

区分	単位	数量	単価(円)	金額(円)
土木一般世話役	人	2.1	24,200	50,820
普通作業員	人	21.0	20,200	424,200
ANDPAD利用料	月	1	60,000	60,000
初期登録、レクチャー料	月	1	8,333	8,333
合計	-	-	-	543,353

歩掛り表あり（自社歩掛）

施工方法

【操作手順】 (for Android)

①アプリをダウンロード

- ・ Google Playストアをタップしてアプリを立ち上げる。
- ・ ページ上部に表示される検索ボックスをタップし「ANDPAD」または「アンドパッド」と検索する。
- ・ ANDPADアプリが表示されるのでタップする。
- ・ 画面中央に表示されるインストールボタンをタップする。
- ・ ANDPADがアクセスする情報が表示されるので、同意するボタンをタップしてダウンロードを開始する。

②ログイン

- ・ ANDPADアプリをタップし立ち上げる。
- ・ ページ下部に表示されるログイン画面ボタンをタップする。
- ・ 申請したメールアドレスとパスワードを入力してログインするボタンをタップする。

③案件の詳細情報を確認

- ・ ANDPADアプリをタップし立ち上げる。
- ・ 詳細を確認したい案件をタップする。
- ・ 詳細をみるボタンをタップする。
- ・ ページ下部からマップアプリで位置情報を確認したり、最寄りのコンビニや駐車場も確認できる。

④資料の閲覧

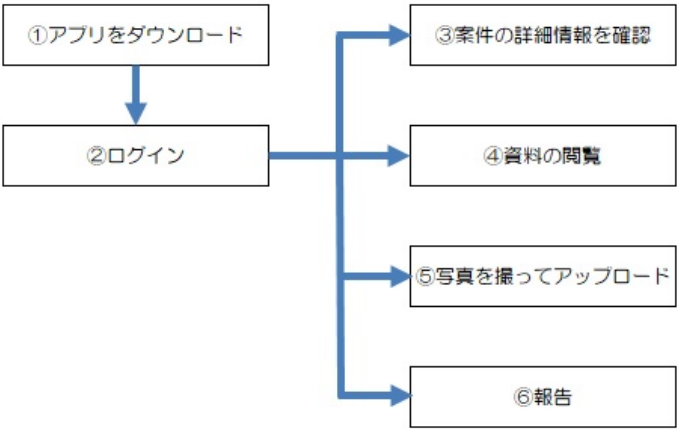
- ・ 資料を閲覧したい案件を開きし、資料タブをタップする。
- ・ 資料フォルダを選択する。
- ・ 閲覧したい資料をタップする。
- ・ 画面上部の資料ボタンをタップする。
- ・ ファイルを開くアプリを選択する。

⑤写真を撮ってアップロード

- ・ 写真をアップロードしたい案件を開き、画面右下の赤いボタンをタップしメニューを開く。
- ・ 写真を追加するをタップする。
- ・ カメラで撮影するをタップするとカメラアプリが起動する。
- ・ 通常の写真を撮るように撮影し、問題なければ右下の保存ボタンをタップする。
- ・ 写真の保存先フォルダを選択する。
- ・ コメントを入力し、問題なければ右下の送信をタップしてアップロード完了。

⑥報告

- ・ 報告を送りたい案件を開き、右下の赤いボタンをタップしメニューを開く。
- ・ 報告するをタップする。
- ・ 種別をタップし、報告の種別を選択する。
- ・ カメラアイコンをタップすることで報告に写真を追加することができる。
- ・ 内容に問題がなければ送信をタップして報告を送る。



操作手順

今後の課題とその対応計画

①今後の課題

- ・ 公共工事や土木工事の現場でも活用しやすい機能の充実・拡大を図る。

②対応計画

- ・ 開発・実証試験終了後、順次アップデートを行う。

問合せ先・その他

収集整備局	関東地方整備局																																										
開発年	2015 (H27)																																										
登録年度	2018 (H30)																																										
登録年月日	2018/08/23 (H30/08/23)																																										
最終評価年月日	2024/12/17 (R06/12/17)																																										
最終更新年月日	2024/12/17 (R06/12/17)																																										
キーワード	安心・安全環境情報化コスト削減・生産性の向上公共工事の品質確保・向上景観伝統・歴史・文化リサイクル 自由記入： 施工管理 コミュニケーション 一元管理																																										
開発目標	省人化省力化経済性の向上施工精度の向上耐久性の向上安全性の向上作業環境の向上周辺環境への影響抑制 地球環境への影響抑制省資源・省エネルギー品質の向上リサイクル性向上 自由記入： 工程の短縮																																										
開発体制	単独（産）単独（官）単独（学）共同研究（産・官・学）共同研究（産・産）共同研究（産・官） 共同研究（産・学）																																										
開発会社	株式会社アンドパッド																																										
問合せ先	技術 <table><tr><td>会社</td><td colspan="3">株式会社アンドパッド</td></tr><tr><td>担当部署</td><td>事業戦略本部 マーケティング部</td><td>担当者</td><td>秋山 友希</td></tr><tr><td>住所</td><td colspan="3">〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル8階</td></tr><tr><td>TEL</td><td>03-6831-4550</td><td>FAX</td><td>03-5539-4551</td></tr><tr><td>E-MAIL</td><td>marketing@andpad.co.jp</td><td>URL</td><td>https://andpad.jp/</td></tr></table> 営業 <table><tr><td>会社</td><td colspan="3">株式会社アンドパッド</td></tr><tr><td>担当部署</td><td>事業戦略本部 マーケティング部</td><td>担当者</td><td>秋山 友希</td></tr><tr><td>住所</td><td colspan="3">〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル8階</td></tr><tr><td>TEL</td><td>03-6831-4550</td><td>FAX</td><td>03-5539-4551</td></tr><tr><td>E-MAIL</td><td>marketing@andpad.co.jp</td><td>URL</td><td>https://andpad.jp/</td></tr></table> その他			会社	株式会社アンドパッド			担当部署	事業戦略本部 マーケティング部	担当者	秋山 友希	住所	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル8階			TEL	03-6831-4550	FAX	03-5539-4551	E-MAIL	marketing@andpad.co.jp	URL	https://andpad.jp/	会社	株式会社アンドパッド			担当部署	事業戦略本部 マーケティング部	担当者	秋山 友希	住所	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル8階			TEL	03-6831-4550	FAX	03-5539-4551	E-MAIL	marketing@andpad.co.jp	URL	https://andpad.jp/
会社	株式会社アンドパッド																																										
担当部署	事業戦略本部 マーケティング部	担当者	秋山 友希																																								
住所	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル8階																																										
TEL	03-6831-4550	FAX	03-5539-4551																																								
E-MAIL	marketing@andpad.co.jp	URL	https://andpad.jp/																																								
会社	株式会社アンドパッド																																										
担当部署	事業戦略本部 マーケティング部	担当者	秋山 友希																																								
住所	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地 住友不動産秋葉原駅前ビル8階																																										
TEL	03-6831-4550	FAX	03-5539-4551																																								
E-MAIL	marketing@andpad.co.jp	URL	https://andpad.jp/																																								
実験等実施状況																																											

- 1.試験実施日: 2015年10月1日～31日(実働26日)
- 2.試験場所: 東京都、大阪府
- 3.試験目的: &ANDPADの導入前と導入後における電話等の削減時間を確認する。
- 4.試験方法: 打合せや確認のための電話、メール、FAX、対面(現場内外)、写真登録のそれぞれの時間を&ANDPADの導入前と導入後に区分して計測する。
- 5.試験結果: 導入前と導入後のそれぞれの時間は、下表のとおり。
- 6.考察: 導入前と導入後では、電話、対面の打合せ、写真登録は多くの時間が削減されており、&ANDPADを使用することで合理的な打合せや確認が行えることが確認できた。



1ヶ月当りの導入前と導入後の時間の変化(単位:分)

	電話	メール	FAX	対面(現場内外)	写真登録	合計
導入前	92	25	4	1,036	83	1,240
導入後	65	21	1	890	27	1,004
削減時間	27	4	3	146	56	236

添付資料

【その他資料①】

【その他資料②】

【その他資料③】

参考文献

特になし

その他写真

チャット

リアルタイムに情報伝達
「言った・言わない」を防ぎます

案件ごとにメンバー全員が参加するチャットルームが立ち上がります。電話やメールで個別で行っていた煩雑なやりとりが一括化されるので、伝達ミスが削減できると同時に、会話が可視化され「言った言わない」も防げます。個人向けの無料SNSとは異なり、業務専用のチャットなので不要な情報が混在せず、セキュリティ面も安心です。

チャット

写真管理

スマホで撮影、そのままクラウド上で管理、共有

これまで事務所での作業を必要としていた写真の管理も、ANDPADならスマホで撮影してそのままクラウド上で行えます。ANDPAD上で全員が閲覧できるので、メールやFAXに費やす時間も削減できます。写真台帳の作成も、撮影した写真の中から選んでフォーマットに落とし込むだけで簡単に。業務効率化が加速します。

写真・資料管理

工程表

最新の工程表を手間なく漏れなく担当者へお知らせ

資材の到着遅れや前工程の進捗具合などで起こる工程変更も、ANDPAD上で簡単に更新できます。各工程に担当者を設定しておくことで、自動でお知らせが届き連絡漏れもなくなります。最新の工程表がいつでもどこでも見れると同時に、工程ごとに通知設定や進捗状況を登録できるので、工期遅れも防げます。

工程表

国土交通省	0件
-------	----

8 / 10

2025/02/13 木曜日 18:10

その他の公共機関	0件
民間等	0件

詳細説明資料

評価項目			申請者記入欄			
大	中	小	①現行基準値等	③申請技術について実証により確認した数値等	④従来技術との比較＜結果＞	備考
品質	耐久性（物性）	-	-	-	-	-
	耐久性（形状）	-	-	-	-	-
	耐久性（能力）	-	-	-	-	-
	材料	-	-	-	-	-
	施工	写真・資料管理	バラバラに管理していた写真や資料をクラウド上で案件毎に一元管理が行えること	バラバラに管理していた写真や資料をクラウド上で案件毎に一元管理が行えることを確認した	従来技術は写真や資料を担当者毎にバラバラに管理しているため向上	-
	完成物	-	-	-	-	-
安全性	構造	-	-	-	-	-
	施工段階	-	-	-	-	-
施工性	現場条件	動作環境	インターネットに接続した状態で動作すること	インターネットに接続した状態で動作することを確認した	従来技術はインターネットに接続しないため比較対象外	-
	適用範囲	連絡調整（施工管理）	連絡調整（施工管理）が必要な全ての工事に適用できること	連絡調整（施工管理）が必要な全ての工事に適用できることを確認した	従来技術も連絡調整（施工管理）が必要な全ての工事に適用できるため同等	-
	自然条件	-	-	-	-	-
	施工管理	時間管理	頻繁な電話や集合しての連絡調整で生じる手間と時間を低減すること	頻繁な電話や集合しての連絡調整で生じる手間と時間を低減することを確認した	従来技術は頻繁な電話や集合しての連絡調整で生じる手間と時間がかかっていたため向上	-
	難易度	熟練度	導入時のレクチャーや操作が分からなくなった時のカスタマーサポート窓口の対応によって、簡単に操作が行えること	導入時のレクチャーや操作が分からなくなった時のカスタマーサポート窓口の対応によって、簡単に操作が行えることを確認した	従来技術も電話等の操作においては説明書やカスタマー対応であるため同等	-
	合理化	工程	－	2.1日／1ヶ月	従来技術は2.6日／1ヶ月であるため19.23%短縮	-
	合理化	チャット	メールやFAXによる連絡をチャットに集約することで、全ての関係者が現状をタイムリーに把握することが簡単に可能となること	メールやFAXによる連絡をチャットに集約することで、全ての関係者が現状をタイムリーに把握することが簡単に可能となることを確認した	従来技術はメールやFAXでバラバラに連絡しており、管理が大変だったため向上	-
	合理化	工程表	テンプレートから工程表を簡単に作成し、クラウド上で編集可能であるため、直ちに関係者全員に変更内容等を共有することができること	テンプレートから工程表を簡単に作成し、クラウド上で編集可能であるため、直ちに関係者全員に変更内容等を共有することができることを確認した	従来技術もテンプレートは使用していたが、変更内容等は電話やメール等で関係者1人ずつに連絡する必要があるため向上	-
環境	社会環境	-	-	-	-	-
	作業員環境	-	-	-	-	-